

佐久地域の高校生とご当地グルメが連携「佐久高校生ラーメン甲子園」事業

取組に至る背景・事業の目的

佐久高校生ラーメン甲子園の開催により、高校生に佐久地域の食材・食文化の知を継承し、同時に起業観・職業観を育成することを目的とする。

事業内容

佐久地域の高校生と安養寺ら〜めん会員が、コラボレーションで開発した、地域食材を活用した創作ラーメンの競演販売を行い、参加者の投票により順位を決定する「佐久高校生ラーメン甲子園」を開催。

○開催日：令和元年10月5日（土）・6日（日）

○場所：駒場公園（佐久市猿久保55番地）

○参加校：佐久地域の高等学校 5校6チーム（高校生38名）



【当日の会場の様子】

順位等	高校	ラーメン	サポート店
優勝	佐久長聖高校	鶏ふる塩豚骨ラーメン	麺匠 文蔵
準優勝	小諸商業高校	小商のコショウラーメン	かるねや
3位	野沢南高校	鯉に恋する白湯ラーメン	麺匠 佐蔵
4位	佐久平総合技術高校浅間キャンパス	浅間ホワイトラーメン	食材工房 光志亭
5位	岩村田高校	アルティメット岩ちゃんラーメン	とんちき麺
6位	佐久平総合技術高校臼田キャンパス	特製びーふしちゅう麺	らーめん麺三

事業効果

○佐久商工会議所・佐久市主催の「ぞっこん！さく市」は、2日間で約53,000人が来場し、ラーメン甲子園の各校ブースには、一般参加者のほか、参加高校生の家族、友達、教職員や高校の卒業生などが一日中長蛇の列をつくり、佐久高校生ラーメン甲子園は大盛況であった。

○ラーメン販売数合計1,803杯（前年度1,062杯、前年度比169.7%）、総投票数1,342票

○ラーメンづくりに参加した高校生の中には、将来調理師や飲食業を志す学生もおり、未来の起業家・就業者が佐久の産業の一端を体験して、将来の方向性を決める動機づけの機会となった。

○マスコミでも多く取り上げられ、地域食材や食文化の魅力を発信するとともに、地域や参加校の活性化にも繋がった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

安養寺ら〜めん会の会員以外のラーメン店の協力も得て、今後も参加高校数を増やすなど佐久地域の食材・食文化の継承を行っていく。

【選定のポイント】

地元の高校生が地域食材を活用したラーメンをテーマに開発からイベントでの出店販売までを体験する事業の実施により、高校生の職業観の育成とともに、地域食材の魅力の発信に寄与した。前回より参加校や販売数が増加するなど事業の発展が見られ、今後も、学生の参画による地域の活性化に向けた取組が期待される。

団体名	信州佐久安養寺ら〜めん会（佐久市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	佐久市猿久保805-1	事業費	1,612,140円
ホームページ	https://anyouji-ramen.com	支援金額	1,278,000円